

第2回世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会

日 時：令和4年12月20日（火）午後5時1分～午後6時52分

場 所：教育会館 ぎんが

出席者：委員（16名）

【学識経験者】近藤委員（委員長）、細越委員（副委員長）、芳地委員

【総合型地域スポーツ・文化クラブ代表】岸田委員

【地域団体関係者】宮幸委員

【保護者代表】栄委員、松浦委員

【区立中学校校長】加藤委員、大塚委員

【区立中学校教員】宮内委員

【せたがや文化財団事務局長】松下委員

【世田谷区スポーツ振興財団事務局長】浅野委員

【区職員】小泉委員、内田委員

【中学生】吉田委員、玉置委員、蔵持委員

【高校生・大学生】近藤委員、藤田委員、新井委員

事務局（3名）

1 開 会

2 会議録の確認

3 中学生、高校生、大学生委員代表による意見の報告

4 部活動地域移行の検討の方向性について

（1）「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン（案）」の意見聴取について

（2）学校部活動の地域連携について

（3）地域資源を活用したトライアル事業（案）について

5 情報提供

世田谷区の地域資源（追加）

6 その他

（1）次回以降の日程について

（2）その他

7 閉 会

午後 5 時 01 分開会

○委員長 それでは、定刻となりましたので、第 2 回世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会を開催したいと思います。

本日の出席は 14 名を予定しておりますが、まだ今後御到着される先生がいらっしゃる、あるいは委員の方がいらっしゃいますので、よろしくお願いします。現在 13 名かと思いません。

なお、大澤委員と片桐委員が欠席との御連絡をいただいておりますので、よろしくお願いします。また、後ほど渡部教育長も同席されますので、よろしくお願いします。

会の冒頭に当たりまして、年末、大変お忙しい中、皆様にお集まりいただきましてありがとうございました。今日は有意義な会になるといいかなと思っております、大きくは、前半は、中学生、高校生、大学生の御意見をいただきながら、そこに関わって議論ができればと思っております。後半は、教育委員会から幾つかの提案がありますので、そこに関わっての御議論をいただければと、2 段構成になっておりますので、御協力いただければと思っております。

それでは、次第に沿いまして進めていきたいと思っております。

まず次第 2、会議録の確認でございます。机上に第 1 回の議事録（案）がございます。こちらの案は、事前に各委員には送付をさせていただいておりますので、皆様には、会議の途中でも何かございましたら、最後のほうに御意見をいただきたいと思っておりますけれども、一旦ここで訂正がありましたらお申出いただければと思っておりますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では、第 1 回の会議録につきましては、現時点で案のとおりとさせていただきますが、もし何か最後のほうにありましたら御発言いただければと思っておりますので、よろしくお願いします。

では、今回の会の目的の前半のメインとなります中学生、高校生、大学生による意見をいただきましたので、その報告をしたいと思っております。

11月に検討部会、これはちょっと用語が難しいですけれども、今集まっていたいただいているのは検討委員会でございます。中学生、高校生、大学生の皆さんに御意見をいただくのは検討部会となっておりますので、委員会、部会とちょっと言葉を分けてお話しさせていただきますけれども、部会が 11 月に行われました。そこで、中学校の部活動に関する意見交換会と題しまして御意見をいただきましたが、本日は、部会から代表の 6 名の皆さんに、

忙しい中、来ていただいております。

まず、11月に行われました部会の概要、その後のアンケート調査も含めて、事務局より報告をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

○事務局 では、私から御説明させていただきます。

まず資料ですが、資料1-1、資料1-2を御覧いただきながら御報告を聞いていただければと思います。

資料1-1をめぐっていただけますでしょうか。1ページ目のところに概要がございます。11月17日に、時間を分けまして、中学生の部、高校生・大学生の部と議論をしていただきました。先生方につきましては、近藤委員長、細越副委員長、渡部教育長が同席をさせていただきます、お話を伺っております。

次のページを御覧ください。中学生の部、参加された方、御覧の皆さんです。今日、この中から3名の方がお越しいただいております。

次のページを御覧いただきまして、高校生・大学生の部でございます。御覧の皆さんに御意見をいただいております。今日は、3名の方にお越しいただいております。

御報告についてはこの後していただくという形になっております。

資料について簡単に御説明をします。

資料1-1は、当日の意見交換会での皆さんの議論をまとめたものです。資料1-2につきましては、当日、御意見が大変活発で、時間が過ぎてもなかなか全部お伺いできなかったものですから、質問シートをお持ち帰りいただき、後からお寄せいただいております。そのいただいたペーパーを基に集計したものが1-2になっております。そういった形で御覧いただければと思います。

御説明は以上です。

○委員長 ありがとうございます。

それでは、本日御出席されております部会の方、代表者6名の生徒、学生の皆さんに自己紹介をお願いしたいと思います。中学生のほうからよろしいですか。それでは、大変緊張感あふれるかと思っておりますけれども、よろしくお願いします。

#### 【中学生委員自己紹介】

○委員長 ありがとうございます。それでは、高校生・大学生のほうから、近藤委員からよろしくお願いします。

#### 【高校生・大学生委員自己紹介】

○委員長 今、自己紹介をいただきましてありがとうございます。多分、大変緊張しているんじゃないかなと思っておりますけれども、それでは、検討部会で実施されました議論も含めて、皆さんの出された意見、検討部会で出された意見を御報告をお願いしたいと思います。

これは順番でよろしいですか。決まっている順番があるかと思しますので、お願いします。

○委員 意見交流会の様子について、まずは発表したいと思います。

意見交流会の様子については、周りの先生方がフランクに話してくださり、とても意見を言いやすい雰囲気でした。

次に、質疑応答について発表したいと思います。

今の部活を選んだ理由については、友達や家族、先輩からの誘いや影響が大きい、または小学校からの経験を生かした生徒が多数でした。

また、次に楽しいと思う瞬間はどんなときですかと聞かれたことに対しては、達成感を得られたときというものがありました。また、仲間や先輩、時にはライバルとの関わりによって理解が深まって成長できるときに楽しさを感じるという生徒がいました。

また、大変だと思うときはどんなときですかという質問に対しては、きつい練習や休みがないときに、勉強との両立が厳しい。また、顧問の指導力がない。大会当日、先生方やコーチの方々にも役割があるため、相談が難しいとのことでした。また、部活内での人間関係、例えばまとまりがないというものであったり、コミュニケーション不足というものも挙げられました。そして、全体を通してPRする機会が少ないので、部員が少ないという意見も出たり、その一方で、部員が増えたことで意識の差が生まれてしまうという意見も出たりしました。

次に、理想的な部活について問われたときには、自分たち目線では、勉強との両立ができないので、休みがあったほうがもっとよくなるのではないかという意見や、あと練習内容、練習時間への工夫、また部活をする周りの環境については、良好な人間関係が組まれていたり、あと周りにもっと大人がいてほしいであったり、あと、これは運動部の方たちの意見なんですけど、校庭に照明が少ないことでボールが見えにくいので、設備の充実をしてほしいという意見ができました。

地域移行についての質疑応答です。メリットは、他校との交流が増えてとてもいい。あと、レベルの高い指導が受けられる。デメリットは、移動時間や移動のときのコストがか

かってしまう。あと、電車で移動するときの周りへの迷惑がかかってしまう。また、人間関係やかみ合うかどうか、指導者が替わることへの不安があります。そして、顧問が学校の先生であったら、学校行事やテストへの配慮が行われるというメリットがあるので、地域移行をした場合、その配慮が無くなるのかどうか心配という意見もありました。以上です。(拍手)

○委員 まず、意見交換の雰囲気としては、みんなが活発にいろんな意見を出していて、よかったと思います。

次に質問についてなんですけれど、部活を選んだ理由としては、家族がやっていたから、もともとやっていた、やってみたかった、もっと活躍したい、そういう意見が多かったと思います。

部活をやっていて楽しいと思った意見としては、みんなで話せるとき、やりきったとき、人間関係の関わりでいいことが起きたとき、そういう意見がありました。

大変だと思うことに関しては、休みが少ない、後輩との関わり方などがありました。

もっとこうしてほしいということに関しては、経験豊かな指導者から学ぶ機会がほしいとか練習時間を増やしてほしい。設備に関するが多かったと思います。また、必ずどの部活にも当てはまるかは分からないんですが、顧問の先生が辞めてしまったときの対応の仕方とか、そういう部分があまり決まっていなかったのが大変だったという意見がありました。

最後に新しい制度については、他校と交流ができて、もっと自分の技術が上がることはいいことだなというのがありますが、代わりに他校と関わることによって、新しくできる問題、人間関係だったりとか、またそこでの指導者だったりとか、そういうものが挙げられたのと、中学校によって方針が違くと、予定などもかみ合わなくなり、そこでまた練習の量が変わってしまうという意見もありました。

以上です。ありがとうございます。(拍手)

○委員 最初は緊張でちょっと堅苦しい場所だったんですけども、周りの職員さんのおかげでどんどん活発になっていって、最初、今の部活を選んだ理由はというのは、大体の人は、友達がいるからとか先輩に憧れてとか、あと好奇心というのが多かったです。

部活をやってみて楽しいと思うことはということで、達成感を得られたときとか、仲間、ライバルができるとか、大体の意見は、一人での楽しさじゃなくて、周りとかち合える楽しさというのを思っている人が多いなって思いました。

部活をやっていて大変だなと思うとき、勉強との両立が難しいなど、部員が少ない、人間関係、部内がまとまらないなどの意見が出ました。

こんな部活だったらいいのという質問には、良好な人間関係が築かれている、練習内容の工夫、設備の充実などが出ました。

部活動の地域移行についての皆さんの意見は、吹奏楽部は楽器の運搬があるので大変、合同チームはカラーが違ってかみ合わない、他校の交流はいい面があるが、人間関係が大変そうという意見が出ました。自分的には、ほかの人とのコミュニケーション能力とか人を敬う能力とかは高まると思うんですけども、やはり一つ一つの部活に伝統というものがあると思うので、伝統と伝統がぶつかったら、多分どちらかの伝統に引っ張られると僕は思ったんです。なので、片方はいい気持ちでも、もう片方は無理をしちゃうんじゃないかなってちょっと思いました。これで終わります。(拍手)

○委員長 中学生の皆さん、ありがとうございました。後で皆さんからも質問をいただきたいと思っています。中学生の今発言していただいた内容ですとか、あと率直な感想だとかいろんなことをお伺いしたいと思いますので、ちょっと御準備いただければと思っています。

では、高校生・大学生の皆さん、よろしくお願いします。

○委員 意見交換会の様子は、様々な意見が出たので、それぞれの学校の様子を知ることができたので、よかったと思います。

部活をやっていて楽しかったと思うことは、達成感が得られたり、また礼儀や上下関係の学べたり、あとは部活を通じて相手への思いやりができるようになったという意見が出ました。

部活をやっていて大変だったと思うことは、やはり勉強との両立が難しいことや、あと顧問の先生が未経験者の人だったりすると、十分な指導が受けられなかったという意見が多く出ました。

部活動の改善点としては、未経験者の顧問がいる部活をもう少しサポートしてほしかったという意見が出ました。

あと、部活動の地域移行については、他校との交流があることによって、レベルアップができたり、いい刺激になるというメリットや、合同練習なので、レベルの差があまり出ないように練習ができるというので、デメリットとしては、他校に行くときに交通費とかがかかったり、あとは別々の学校なので、接点がないため、意見の違いなどが出てくるの

ではという意見が出ました。また、小学生とか高校生とかの同じチームになったりすると、レベルの違いがあって、気を使ってしまったりなどもあるので、十分な練習ができないのではないかという意見も出ました。あとは、全員が高い意識を持って部活をやるのではなくて、自由に参加できる部活があると、スポーツ自体を純粋に楽しみたいという人もいると思うので、そういう自由な部活があってもいいのではないかという意見も出ました。以上です。(拍手)

○委員 意見交換会当日は、全員が様々な意見を持っていて、いろいろなことを知れたし、自分でも、ああって思うことが多かったです。

部活を通して得られたことは、やっぱり礼儀を学んだり、上下関係を学べたり、あと部活でしか得られないチームメイトとの思いやりや、達成感があるという意見が多かったと思います。

部活をやっていて大変だったなと思うことは、やっぱり部員が少なかったり、顧問の先生が未経験者だったり、様々な問題があると思います。

こういうふうなところが改善されたらよかったということは、私の中学校も顧問の先生が未経験者で、何かあまり教えてもらえなくて、それで自分も後輩にうまく教えることができなくて悩んだ時期があったので、やっぱり未経験者の顧問ではなくて、経験者の顧問がいることで部活自体もどんどん質が上がって、レベルアップしていくと思います。

地域移行に関しては、部員が少なければ、ほかの学校と合同なので、よりいい部活ができると思うし、メリットもデメリットもどちらともあると思います。以上です。(拍手)

○委員 意見交換会の当日は、最初は意見の交換というのがあまり激しくは行われていなかったんですけども、後半になるにつれて、だんだん皆さんの手が挙がって意見を交換できるようになっていたのも、とてもいい雰囲気だったと思っています。

部活をやっていて楽しかった、よかったと思う点で、全体的に、社会に出たときに、これからも必要になるような力が身につけているなという印象です。

大変だと思った点はこの質問に対しては、やっぱり勉強との両立が難しいとか、部員が少なかったとかいう意見も多かったんですけども、そこからまた相手チームへの挨拶などの礼儀に苦労したという意見だと、これがまた自分のプラスのほうにつながられたのかなって思っているんで、大変だったと思う点を大変だったというので終わりにしないで、プラスにつながられたのでいいと思いました。

地域移行に関しては、デメリットの意見だと、異なる環境で知らない人もいる中で部活

を行うので、あまりレベルアップできないんじゃないかという意見もありました。メリットの意見だと、知らない人もいる中ですと、そこで様々な交流が生まれて、よりレベルアップできるんじゃないかという意見がありました。以上です。(拍手)

○委員長 ありがとうございます。高校生・大学の皆さん、ありがとうございます。6人の皆さん、ありがとうございます。多分ようやく緊張が少し解けたかなと感じている時期じゃないかなと思います。

委員の皆さんには質問を1個ずつ考えていただければありがたいんですけども、さらっとまとめますが、中高大学生それぞれ今御意見をいただきましたけれども、まさに当事者としての意見だと思うんです。管理者として、あるいは大人としての意見というよりは、そこを経験してきてこんなことを感じたという話が今語られたかなと思っています。

まさに部活動のよさは、仲間だったり、それに関わっての勝利や記録を追求したり、あるいは何か発表することによる達成感だったり、そしてそれに関わっての社会的な態度とか礼儀だとか、そんなようなことを身につけられるメリットがある一方で、人間関係の複雑さですとか調整の難しさ、意識の違いみたいなのところに、それは教師との関係であったり、仲間との関係だったりというところで苦勞している姿みたいなのが、今浮かび上がったんじゃないかなと思っています。

そして、今回の本委員会の主題となっている地域移行のところでございますけれども、率直な意見が出たかと思います。まず移動にかかる、あるいはコストにかかるお金はどこから出るんだろうか、お金、そんなにあるわけじゃないよなという問題もあるだろうし、ほかの学校と合わせると、もっと人間関係は複雑になるんじゃないかなんていうこと、それから本当に自分たちが伸びるような専門の方がついていけるんだろうかどうか、そんなようなところだったり、あるいは文化の違いなんていうところも幾つか語られたかなと思っています。メリットも非常に大きいと感じつつ、一方で、さらに不安というんですか、これをデメリットとっていいのかわかりませんが、不安みたいなのところの大きさみたいなのが語られたんじゃないかなと思っています。

それでは、委員の皆さんから中学生、高校生、大学に向けて幾つか質問、突っ込んだところを20分ぐらいいただけるとありがたいんですが、いかがでしょうか。どなたでも構いませんので、いかがでしょうか。

○委員 よろしくお願ひします。

中学生は今まさに部活動をやっている時期で、高校生も今現在部活をやっている方もい



ると思うんです。単純にというか、私自身もずっと中学、高校、大学と運動部だったので、部活動って楽しいというイメージがやっぱり強いんですけれども、悩んだりするときに、相談する相手が顧問の先生だったり友達だったりだと思うんです。それが移行して外部の人になったら、単純に同じように、先生のほうが親しいので、外部の講師になったばかりはまだ信頼関係が築けないで難しいかもしれないんですけれども、学校の先生とだと、もともとある信頼関係の上に部活動をやって、相談もしやすいかと思うんですが、外部の先生とかになったときに、自分たちが相談しやすいさって変わるとは思いますか。何か気持的などころなんですかけれども、相談しにくくなっちゃうなって私自身はちょっと思うんですが、今部活動をやっている皆さんは、そういう環境になったときにどういうふうに思われるかなというのをちょっと聞いてみたいです。

○委員長 いかがでしょう。

○委員 とても変わってしまうと思います。学校の先生が顧問だったら、ある程度生徒がその先生のことを知っているの、生徒にどういう人間かということを理解してもらえていると思います。授業での関わりとかがあって、別の面とかも知っているの、その上で、私が説明した人物像が合わさるので、自分が話したことがすべてだということにはならないと思います。しかし、地域の方が顧問になると、自分の言っている話が全てだみたいな感じで、その方のイメージを固定しちゃうかもしれない。自分が見ている以外のことで、何か事情があるかということまでは分からないので、自分が言ったことが全てと思われたらトラブルが起きてしまうかもしれない。やっぱりその面では、誤解を生じないように、自分も少しためらう部分が出てきてしまうので、説明がしづらくなってしまいます。以上です。

○委員長 貴重な意見、ありがとうございます。学校全体の生活を見ている先生と、そうではなくて、そのときのスポットで入っている外部の指導者とはちょっと違うだろう、ためらってしまうという意見でした。

ほか、中高大学生、いかがですか。誰でもいいですよ。今の質問、どうですか。相談のしやすさは、いかがですか。振っちゃっていいですか。どうですか。

○委員 やっぱり相談のしやすさはしにくくなってしまいます。ふだんの学校生活を見ている先生であれば、ふだんから気にかけることができるし、いつでも相談がしやすいという雰囲気をつくれるじゃないですか。その一方で、外部のコーチとかになってしまうと、やっぱり相談できる時間が限られてしまうのがデメリットというか、しにくくなっ

てしまうのではないかと思います。以上です。

○委員長 急な振りでごめんなさい。ありがとうございます。非常にデメリットのところが語られたかと思えます。ほかはいかがですか。よろしいですか。

じゃ、少し質問を変えたいと思えます。ほかはいかがでしょう。違う質問はございますでしょうか。

○委員 私、どなたか一人の中学生、高校生、大学生の方というよりは、皆さんが全員を代表しているというつもりではありませんが、手を挙げて答えてほしい、そういう質問をしてもいいですか。

○委員長 もちろんいいです。よろしいです。

○委員 もし皆さんがすごくメジャーな、どこの学校にもある部活のメンバーだと思います。そのときに、自分の学校以外のところで合同とか、または専門の方の指導を受けてみたいと思う人、手を挙げてください。(挙手)

結構ありますね。では、下ろしていただいて、もしそういう部活にいたとして、いや、自分の学校で顔見知りのお友達といった人から指導を受けてみたい。これは両方手を挙げるのもありだと思っただけけれども、そういう思いのほうが強いという人はいます？(挙手)

ありがとうございます。では、今度はすごく前提を変えて、マイナーな、自分の学校に部がないけれども、私はこの活動をしてみたいと皆さんが思っただけとしたときに、そのときに学校以外の場所に出向いて行って、ほかの学校の子と一緒に活動することを選ぶか、それとも、いやいや、自分の望みはちょっと折ってでも、ほかの部活動で自分の学校でやっている活動のほうに、我慢してといたら何ですが、第2希望のところに行きますというのとどっちが多いかしら。これも両方手を挙げ得ると思っただけけれども、場所を離れたところに行っても、自分のやりたい部活をやりたいという人、手を挙げてくれますか。(挙手)

すごい多いですね。では、下ろして。第2希望でもいいから、自分の学校で部活動をしたいと、両方挙げることもあり得ると思っただけけれども、それで手を挙げてくれますか。(挙手)

結構みんな、やっぱり両方あるということですね。分かりました。

では、私からもう1個だけ。私ども文化財団って、ある種、演劇とかダンスに関してはプロです。先生方の指導のよさというものと、プロの指導のよさというのは全然違うので、両方ともいいんですよ。両方ともいいんですけれども、これはすごい難しい二択をします。皆さんが三軒茶屋にあるパブリックシアターに来て、ダンスとか演劇の指導を受けるのが

いいか、それとも私どものところである程度レクチャーを受けた先生方に自分の学校で指導してもらうのとどっちがいいか。これは申し訳ないが、二択にさせていただきます。どちらかだけ手を挙げてください。難しい質問です。皆さんがパブリックシアリーに来て指導を受けるというほうがいいという人、手を挙げてください。(挙手)

ありがとうございます。指導を受けた先生または先生じゃなくて地域の人材でもいいです。地域の方でもいいですが、そういう方に自分の学校で指導してもらいたいという人。(挙手)

分かりますね。ありがとうございます。すごく多様だということが分かりました。ありがとうございます。

○委員長 委員、ありがとうございました。中高生、大学生も含めての多様なニーズというのが恐らく確認できたかなと思っていましたが、ありがとうございます。

ほかの委員の皆さん、いかがですか。

○委員 よろしくお願ひします。

東深沢スポーツ・文化クラブは25のクラブがあるんですけども、総合型というのは、学校の部活動以外の部が結構いろいろあるんですね。東深沢のほうでは太極拳があったりだとか空手があったりだとか、文化のほうでは英会話ですとかギターですとか、またほかのところへ行けば、ヨガがあったりだとかいろんな種目があるんですけども、先ほど自由に参加できる部活、スポーツ自体を純粋に楽しみたい。そういうのがあればというのがちょっと意見の中であったと思うんですけども、どのような種目があると、より楽しくスポーツができるのかちょっとお聞きしたいんです。

○委員長 これは中学生に聞きますか、あるいは皆さん。中学生に聞きますか、どうしましょう。

○委員 両方に。

○委員長 両方、中高大、皆さん6名の方全員に聞きますが、いかがでしょう。

○委員 もう1回質問、いいですか。すみません。

○委員 こちらの高校生のところの資料にありました自由に参加できる部活動があるとよいと思いましたというのと、スポーツ自体を純粋に楽しみたいということが書いてあったんです。いろんな種目をゆる部活だとか今話題に出ていますね。そういうことを言われているのかなと思って、どういう部活が学校の種目以外にあるといいのかなという質問です。

○委員 自分的には、自分はエンジョイしたい系なんで、楽しみたい人なんで、何かダン

スとかみんなで笑い合って、かつ動ける部活がいいなと思います。

○委員 私の中学校には軽運動部という部があって、年に数回しか活動がないんですが、それでもその数回のうち、自分の予定が合えば参加できて、予定が合わなかったら参加しなくてもいい。活動する種目は、1学期は水球をやりましたが、部員の意見を取り入れて自分たちで種目を決められる。そういう形態の部活動がほかの学校にもあればいいのかなと思いました。以上です。

○委員 吹奏楽部視点としては、弦楽器とかと交流できて、合わさってできるオーケストラ的なものがあればいいと思うし、運動系で言うと、初心者でもできるダンス同好会とかあれば楽しいなって思います。以上です。

○委員長 ありがとうございます。高校生に聞きたいと思います。

○委員 今の部活動だと、サッカー部とかバスケットボール部とか、そういう一つのスポーツに取り組むという部活動がほとんどだと思うんですけども、自由に参加できるとか、スポーツ自体を楽しみたいという人のために、何かいろいろなスポーツが1年で、この時期は何をやるとか、そういういろいろなスポーツを経験できる部活があったらいいって思います。

○委員長 ありがとうございます。恐らくシーズンとかそういうことですよ。

○委員 今の高校にある部活は、全部高い結果とか高い順位とかを目標にしている部活が多い中で、結果とかを目標にするのではなくて、スポーツを楽しむという面に入れる部活とか同好会みたいなのがあったら、もっとスポーツを純粋に楽しめる人が増えると思うし、自由に参加できる部活があることで、スポーツって嫌いな人もいるし、好きな人もいて、嫌いな人は多分そんなの苦手とか、ちょっとハードルが高いという面があると思うので、自由に参加できるという部活があったら、自分がやりたいと思ったときに行ったりスポーツができると思うので、そういう部活があると、もっとスポーツを楽しむ人が増えるんじゃないかなと思いました。

○委員長 ありがとうございます。恐らく大学で言うと、サークルとか敷居の低さですよ。敷居の低いみんなが参加できるものということが一つ求められているかなと思います。他の委員、いかがでしょう。

○委員 自分の中学でやっていた部活も、自分は部長をやっていたんですけども、人数が少なくてすごいちゃんとした練習ができなくて、学校終わっても2～3人が自由に帰っちゃって、何かスポーツ自体を単純に楽しみたい人たちも結構いたので、そういう人たちが

自分の好きな時間に好きなスポーツができるようなものが増えていけばと思っています。  
以上です。

○委員長 貴重な意見、ありがとうございます。

皆さん、何かちょっと詰まっている感じなので、ちゃんとお茶を飲みながら、少しブレイクしながら、リラックスして意見を言っていたけるとありがたいなというところがございますが、じゃ、副委員長、お願いします。

○副委員長 じゃ、お茶を飲みながら聞いてください。先日の検討部会の際に、委員が今、中学校でソフトテニス部と茶道部でしたっけ。

○委員 はい。

○副委員長 兼部しているという話がありました。今どんな部活があればいいかなという話になったんですけども、今2つ選んで入っていらっしゃいますね。そうでもない？

○委員 そうです。2つ選んで。

○副委員長 何か一つにこだわらずに選んでいることの今のよさとか、何かそんなところの感想も聞けたらいいなと思ったんですけども、どうでしょう。

○委員 よさは、運動部と文化部って全然違うじゃないですか。僕的には、文化部で僕、日本の文化を学びたくて茶道部に入ったんですけども、親に運動もしておけばと言われて、僕はテニス部に入ったんですね。両方入っていていいことは、運動部では人間の絆というか、人との関わりとか、先輩、後輩への敬い方とか教え方とか、多角的な視点が得られるところで、文化部は作法という礼儀が主じゃないですか。だから、外に出たときとかも、おじぎの仕方とか人を案内するとか、礼儀の作法も学べるのでいいかなって思います。

○委員長 ありがとうございます。様々なところで複数の体験をすることによって、その個人が豊かになっていく、非常にいろんな経験をすることによって成長していくという姿が、委員から今語られたかなと思っております。

ほか、質問はいかがでしょうか。

○委員 スポーツ振興財団というのは、区のスポーツ施設の維持管理、運営であるとか、あと様々なスポーツ事業をやっているところになります。

皆さんにお伺いしたいんですが、地域移行ということになると、どうしても場所が特定の学校になるのか、もしくは区内のスポーツ施設になるとか、先ほど来移動の話が出ていますけれども、これは感覚的で構わないんです。例えばですが、平日だったらどのくらいの時間だったら許せるとか、休日だったらどのくらいの時間とか、そういった感覚的な部

分で教えていただきたいのと、あと例えば、運動部系なんかの場合、私たちスポーツ振興財団ですので、もし地域移行ということであると、今まで学校になかったような活動ができればつくってほしいとかそういった部分、あと地域移行ということなんで、ちょっとそういったのが可能かどうか分からないんですが、学校での部活動に入ったままで、学校の活動を少なくして合同の活動があるといいなとか、そういった部分で皆さんの御意見を伺えればと思います。お願いします。

○委員長 複数の質問があったかと思いますが。考えていただきたいんですけども、まず移動ですね。今、平日だったら何分ぐらいまでの範囲、あるいは幾らぐらいまでも含めて許されるか。休日だったらどうかというところ、いかがですか。まず1個ずついきたいと思いますが。

○委員 平日に関しては、授業が終わるのが3時半ぐらいなんです。そこから帰り学活とかホームルームとかをやって、その後掃除をすると、4時ぐらいから部活動が始まります。夏は6時ぐらいまで活動し6時半が最終下校、冬になると、暗くなってきてしまうので、5時半に部活動が終わり、6時最終下校になります。移動などがあると、部活動の時間が、たださえ時間が短いのに、30分短くなると、活動内容が少なくなってしまうと思うので、平日は15分ぐらいの移動までだったら大丈夫かなと思います。休日は、中学2年以降になると、塾に行く人が増えたり、勉強との両立に関係してしまうので、個人によって影響の差が大きいのですが、それでも30分から1時間以内なら大丈夫かなと思います。以上です。

○委員長 ありがとうございます。中高生、大学生も含めてほかは意見ありますか。何分ぐらいまでだったら許されるか、平日。今は平日15分という意見がございました。休日、どうですか。誰でもいいですよ。

○委員 私も先程の委員と同じ意見で、平日は、学校が終わるのが4時ぐらいになってしまうので、そこから運動部とかいろいろ準備の時間がかかったりしていると思うので、最低でも平日でも1時間半から2時間は練習時間が取れるといいと思うので、移動時間はなるべく15分以内がいいけれども、できるなら30分以内のほうがいいと思います。

○委員長 ありがとうございます。じゃ、2つ目の質問に行っていいですか。学校にない活動、こんなのがあったらいいんじゃないか。例えば弓道とかアーチェリーとか、そういう学校でなかなかやりづらいという活動もあるかと思いますがけれども、こんな活動があったらというのはどうですか。アイデアは何かありますか。あるいは、文化部でもいいです。学校の中ではなかなかちょっとそれはできないでしょうというのが、部活として外ででき

るというのがあってもいいんじゃないかなと思います。いかがでしょう。ちょっと難しかったですかね。誰か行きませんか。

では、2つ目の質問ともう1個の質問を少し合わせていきますね。学校と外と二重所属と、そんなようなものも今アイデアとして一つありましたが、二重所属になる、いかがですか。同じものを二重所属になるだろうし、違うところというところもあるかもしれませんが、いろんなパターンが考えられますが、いかがですか。

○委員 私は、中学時代、正直、入りたい部活がなくて、ダンス部とかチアダンス、チアダンスを中学生のときにやっていたので、チアダンスとかそういうダンス系のものに入りたくて、でも、自分の中学にはなくて、仮にあれば、いろいろ行って硬式テニス部に決めたんですけども、やっぱり自分のやりたいものがない人っていうのも多いと思うし、そういう中で、外部だけれども、自分のやりたいことができるというのは、すごい自分にとってもプラスになると思うし、そういうのがあるといいと思います。

あとは、二重の部活で、学校ではテニス部をやって、外部ではダンスをやるみたいな、私がもしその立場、そういう機会を得られたなら、自分だったらそうしていると思うし、両立は大変かもしれないけれども、自分のやりたかったことをやるべきだと思うので、そういうのはいいと思います。以上です。

○委員長 ありがとうございます。ダンス系でも本当にいろんな系列、チアダンスとかソングリーディングとかいろんなのがあって、自分のところにあったりするものが外にあるといいかなというところもありますし、委員のほうでは、自分で決めたということであれば両立できるんじゃないかということかなと思っていますが、ほかはいかがですか。

○委員 学校にない活動についてなんですけれども、さっきの自由に参加できる部活にちょっとつながるんですが、スポーツセンターとかだと、学校にない設備だったり備品だったりあると思うので、そういうのをを使って、単純にスポーツを楽しみたい人たちが、スポーツセンターにあるような備品を使ってスポーツができるような活動があればいいと思います。以上です。

○委員長 ありがとうございます。専門的に施設があるところで、そういう新しいところをやってみたいというところかなと思います。

ほかはいかがですか。質問をお願いします。

○委員 私は船橋地域で青少年船橋地区委員会というところに所属していて、地域で文化的なクラブ活動を運営しています。

部活動というと、どうしてもスポーツ部のことが思い浮かびますけれども、文化的なクラブも地域で運営しているので、地域の小中学生が集まって活動しています。学校の部活を選ぶ基準としては、やってみたいとか興味があるとかいうことで選んでいるんだと思うんですけども、やりたいことをやるために、学校単位の部活でないとかだめなのかどうかというところで、今だんだんと指導者の問題とか先生方の問題とか課題があるので、地域に移行していこうという話になっているわけで、でも、やっぱり学校にある部活にないものを地域に求めるとかという話に膨らんでいるので、学校単位で部活を設定して、そのほかにないものを外に求めるという傾向なのか、それとも、もう学校単位ではなくて、みんなこの地域のクラブに入れるようになっていくのかなというイメージを私は持っていたんです。

でも、皆さんの中で、部活動というのはやっぱり学校単位という概念があるのかな。そうすると、学校単位であることに、さっきも先生方との相談のしやすさみたいなメリットとかも、人間関係の上ではそうだと思うんですけども、そういうところもあると思うんですが、そのほかに学校単位であってほしいなというところは何かありますか。

○委員長 学校でやる部、学校ではない外のというのはあると思いますけれども、学校にある意味ちょっとこだわりたい、あるいは学校でこそ得られる経験みたいなのはいかがですか、学校での部という。どうですか。相談しやすい、人間関係をつくりやすいというものもあるかもしれませんが、そのほかどうですか。どうでしょう。手がなかなか挙がりませんが、いいですか。何で当てるんだよと思っているかもしれませんが、順番に行ってみましょう。

○委員 私は陸上部に入っているんですけど、陸上部では、地域の中から本当に技術がある人が、別の実力が上の選抜チームに呼ばれて行ったりするんです。そこで学んだことを、その人が今度学校に戻ってきて、ほかの自校の部員に教えたりしています。そういうときに、学校という一つのグループの中で、また顧問の先生や指導員の方が自分が得た知識を学校の部活の中で広げられているというところがいい点なのかなと思います。また、これは個人の意見なのかもしれないんですけど、やっぱり自分たちの学校の名前を背負って活動するという面が部活動ではあります。吹奏楽部とかでもコンクールで、学校の名前を呼ばれて表彰されたりとかがあるので、学校に誇りを持てるというところは、自分としてはプレッシャーにもなりますが、いいことなのかなとも思います。以上です。

○委員長 学校の先生方が聞いたら、すごくうれしいだろうな。やっぱり学校の名前を背



負うということの誇りというか、プライドですね。聞いていて、そこが非常に大きいんだらうなというところを今感じました。ありがとうございます。

中高生、大学生、ほかはいかがですか。

○委員 学校で部活をやるメリットは、授業でも使っている施設とかで活動することも多いと思うので、そういう慣れたところで活動できるのはすごいいいと思います。あとは、それぞれの部活が表彰されたときに、その部活でうちの学校が有名になったり、私の中学校ではラグビー部がすごく強かったなので、ラグビー部が表彰されたりしていることで、中学校の名前が広まっていったり、それぞれの部活が表彰されることによって、リスペクトというか、自分の学校がそれぞれのスポーツとか部活動の大会とかで活躍しているところを見ると、すごくうれしいので、学校全体で一体感が生まれたりするのでいいと思います。

○委員長 一体感とかまさに学校に対するアイデンティティーというところかもしれないね。自分が所属していることの所属組織の意味みたいなところを感じる瞬間かもしれない。近藤委員、ありがとうございます。

すみません、私、ちょっと進め方が悪かったもので、あと一人、二人でしたいと思いますので、順番に行きたいと思います。

○委員 失礼します。日本女子体育大学で教員をしています。私も部活動人間で、すごく部活動に教えられて、いろんなことを学んで、まさに生活の中心が部活動だったという青春時代を過ごしてきました。

今回、地域移行ということで、中学生、高校生、大学生の皆さんにも検討部会で御意見をいただいたかと思います。特に地域移行という言葉が先行して、地域に放り出されるんじゃないか。これから部活動が取り上げられるんじゃないかという不安に駆られているところかなと思います。世田谷区としても、まだどういう形で移行していくかについての結論は出ていないので、そういった皆さんの意見をいただきながら、世田谷区としての望ましい形を模索していくということになるかと思います。

今、学校の中での部活動ということが議論になっていますけれども、皆さんに聞きたいことが1点だけあります。部活動をやっていると引退ということが余儀なくされるかと思うんです。皆さんは、学校の中で競技をやっている、部活動をやっている、これは文化部も運動部もですけれども、引退というのはいつ迎えるんですか。そして、引退後はどういう活動をしていますか。

○委員長 中学生だと、3年生ぐらいで多分引退という時期が来るかと思いますが、

いかがですか。引退時期、そしてその後。

○委員 私は、中学時代、夏に一つ大きな大会があったので、その大会に出て引退という形になって、その後はもう受験勉強に励みなさいという形で、でも、部活に来ちゃだめというわけではなくて、自分の好きなきに行って、後輩に教えてあげたりとか、試合には出ないんですけれども、自分で部活をやったりという形で、3月ぐらいに一度自分たちが集まる日があって、その日に後輩がお見送りという感じで、引退した後は基本的に自由という感じでした。以上です。

○委員長 ありがとうございます。その後受験とか自由というのが逆にあるのかなと思います。

ほかはいかがですか。

○委員 私の中学校では、8月に音楽発表会というものがあって、それが終わったら引退という形になって、前の3年生は、引退後も来てくれたり、卒業後も来てくれたりしていました。また、引退して、9月から2月までの期間はもう受験勉強に専念という形で、去年と今年は音楽祭が、本当だったら2学期にあるはずなんですけれども、コロナの影響で3月になっているんですね。その場で、1、2年生と合流してまた一緒に演奏する、8月のときには仮引退みたいな形を取っています。以上です。

○委員長 ありがとうございます。委員も手を挙げたかと思いますが、お願いします。

○委員 私の中学校では、テニス部の場合だと、夏休みの後半に大会があって、そこで都大会に行けたら、まだ継続していけていて、途中の大会で負けてしまったら、もうその時点で引退になってしまいます。文化部は、大会とかも特にないので、11月いっぱいまではいられるようになっていて、その後は全員、受験勉強なんですけれども、茶道部の場合は、受験勉強を終わって、卒業式の前日ぐらいに卒業茶会とって、何か先輩を見送るためのお茶会を開くようになっていきます。

○委員長 ありがとうございます。

○委員 ありがとうございます。大会があることのメリットってすごく大きいと思うんです。やっぱり大会があることでいろんなことを我慢できたり、悔しいこと、苦しいことを大会を目標に我慢できるというすごくメリットはあると思うんです。私も高校野球をやっていたので、甲子園に行けるんだったら、何でも我慢できるって、そういう青春時代を私も過ごしてきました。

一方で、引退ということがあると、先生方は次のチームづくりをして、君たちは受験勉

強しておきなさいというスポーツの場がむしろ奪われてしまっているんじゃないかな。引退をしても、スポーツを続けられる環境がもっともっと身近なところにあったら、受験勉強と並行して続けられるじゃないかなって思うんですけども、皆さん、どうです？引退して終わりと思われるよりも、そのままずっとスポーツに携われる、文化活動に携われるような環境があったらすてきだなと思います？ごめんね、これは誘導尋問じゃないです。すみません。

○委員長 恐らくアンケートの質問の中でも、実は少し回答があるので、芳地先生も後で御覧いただくとありがたいんですけども、実は意見は分かれるかな。はじめが見つからないという回答もあるし、学校が終わったら、どのみちもうそれは引退なんじゃないかなんて、一方で、まだ続けられる場があるんだって、期待と不安じゃないですけども、両方あるかなというのは感じていた次第です。ありがとうございます。

では、あと一人だけにしたいと思います。お願いします。

○委員 2回も質問してすみません。さっきの外部で習うものと学内の部活の二重の所属というところで、私、日体大出身で、チアリーダー部だったんですけども、学内で技を磨くために、上に乗る子は、上に飛ぶ感覚を習うのにトランポリン部に行ったりということで、日体大だったので、外部にあるような施設が全部学内にあるような環境で大学時代を過ごしていたので、中高生であれば、外部に行って習うようなことを、それぞれの技術を学内でレベルアップして、またみんな部活に戻ってきて、バク転であれば、体操選手の子たちにバク転を教えてもらって、チアリーディングの場で発表するとかというのが私が大学時代にはあったんですけども、そういった形で、例えば二重所属というわけではないんですが、学内でやっている競技のレベルアップを図るために、外で別の競技というわけじゃないんですが、関連したものとかを実際に習っている子とかというのはいますか。

今みたいにチアリーディングの上に乗る子であれば、部活はチアリーディングだけでも、外部でトランポリンとか体操競技を習っているみたい形で、一つの競技に通じるために2つことを習っているみたいな形で活動している子は、何かそういう子は、外部への移行というんじゃないですけども、外部へのそういう理解もちょっとあるのかなと思ってみたんで、ちょっと質問してみました。

○委員長 ありがとうございます。学校に籍を置きつつ、活動の活動もやりつつ、外の活動もやっているという人、6名の中にいますか。ここの中ではいなかったですかね。

例えば、シニアリーグとか野球とかJリーグの傘下にいるとか、クラブチームのサッカー

一の子たちは意外と中と外、二重に所属になる子もいたりするかなと思っていますが、ありがとうございます。

では、よろしいですか。この議論、1時間近くになりました。中学生、高校生、大学生からの検討部会の委員の皆さんからの質疑応答をここで一旦閉じたいと思います。6名の皆さん、本当にありがとうございました。（拍手）

6名の皆さんの意見を聞いていると、世田谷の未来は明るいなと私はいつも思っているんです。すごくしっかりしているし、貴重な意見を聞けたなと思っています。学期末の本当にお忙しい中、6名の皆さんに来ていただきました。最後まであと30分ちょっとありますので、もうしばらくお付き合いいただいて、委員の皆さんがどんな意見を持っているのかというところをお付き合いいただければと思っています。

それでは、一旦前半の部はこれで終わりにしたいと思います。後半の部に行きたいと思っています。

次第の4、部活動地域移行の検討の方向性についてでございます。こちら、資料2でございます。学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン（案）の意見聴取についてでございます。こちらについて事務局より説明をお願いします。

○事務局 では、御説明させていただきます。

前回も、文化庁からとスポーツ庁から、それぞれ概要という形で地域移行について御説明をいたしました。このたび、スポーツ庁と文化庁から意見聴取を行って、ちょうど終わったところなんです。資料2というものになりますけれども、前回、スポーツと文化と別々に分かれていたのを御記憶されているかと思うんですが、一緒になったガイドラインというのが出てきています。今日は、資料2では概要だけ御用意していますけれども、前回の御説明と少し違った表現になっているところだけ御説明させていただきたいと思っています。

資料2の1ページ目は、前回御説明したことと大体一致した内容なので、御覧いただくだけで、次の2ページに行きたいと思っています。

2ページのところが、前回、口頭ではいろいろニュアンスとして御説明をしているところとほぼ同じではあるんですけれども、少し地域部活動の形が明確に示されているので、2ページの部分を御説明させていただきます。

まず左側ですけれども、学校部活動ということで、これは今の状態ですが、位置づけと

しては学校教育の一環である。言うまでもありませんが、指導者は学校の教師、参加者は生徒で、場所は学校の施設という形で書かれております。

その下ですけれども、これから少し変わっていくものの一つとして、学校部活動の地域連携というのが書かれています。これは、合同部活動ですとか部活動指導員を入れて学校で活動する、地域移行よりもちょっと手前の段階として書かれているものです。これは、指導者については部活動の指導員ですとか関係校の先生方、参加者は生徒で、場所については学校で行うことを想定して、地域へ移るものの少し手前の段階といいますか、中間の段階として示されています。

右側ですけれども、休日の地域クラブ活動ということで、休日のとありますけれども、平日も含んだような考え方とはなっています。これについては、学校と連携して行う地域クラブ活動ということで、法律上も学校ではなくて社会教育とかスポーツ、文化芸術という形ではっきりと示されています。左側の現在の学校部活動は学校の中での活動で、移行した後の地域クラブというのは、場所は学校の中でも行われることがありますけれども、完全に切り離された新しいクラブの活動という形で明確に示されたものが今回出てきております。

御説明を右側でちょっと続けますけれども、運営団体・実施主体というところで、これは前回の御説明と大体一致していますが、地方公共団体と様々な組織とか団体ということで、総合型地域スポーツクラブですとか、体育・スポーツ協会ですとか協議の団体、プロチーム、民間事業者、大学などが御協力してやっていきますということで、指導者は地域の指導者、前回も検討部会の際もちょっと御説明しましたけれども、先生で指導を熱心に続けたいという方については、先生も兼職兼業という形で、地域の指導者として教えていただくという形を取りますということです。参加者は地域の生徒ですけれども、例えばほかの世代の人が一緒にやることも含まれますということが書かれています。場所も、学校はもちろんですが、学校以外のいろいろな施設、民間の施設とか区の施設とかそういったところを使うことがいろいろ考えられるという形で、少し明確な感じで示されてきておりますので、御確認も含めて御覧いただいております。

この資料は、この後3ページ、4ページと続きますが、3ページのところをちょっと御覧いただきたいんですけれども、どういう形が考えられるのかなというのが少し簡単に示されています。地域クラブの活動については、上の右側が主かなと思いますけれども、いろいろな組織や団体が運営団体として行うということで、場所も社会体育施設ですとか公

民館、民間スポーツ、文化施設ですとか、そういうところで御覧のいろいろな指導者の方が運営をする。そこにいろんな中学から一緒に参加することもあるし、それぞれの学校で参加することもある。

左側が地方公共団体が運営団体という形で、いろいろな団体に協力をいただいて行う。学校施設で行うパターンについて書かれています。

下に、これは今まであまり明確に書かれていなかった、さっき左側に書いてあったところなんですけれども、学校部活動の地域連携というのが示されています。これは、さっき中途の段階ですよと言った形で、前回、世田谷区では部活動支援員制度というのを行っていきますということで御説明をさせていただきましたが、その支援員制度を使うという形の形態と非常に似た形が今回示されています。

4 ページについてはそれぞれの進め方、5 ページについては、いろいろなところの役割の分担の仕方が示されていますが、今日は触れずにおきたいと思います。

資料2の御説明については以上です。

○委員長 ありがとうございます。これはあくまで国のほうが出している新しい考え方、これまでいただいた資料をさらに合算し、そしてアイデアを少し加えたという形になっているかと思いますが、まずこの資料に関わりまして何か御意見、御質問はありますか。この後、世田谷区がどうするかという話はまた別なので、まず一旦この資料の御質問、御意見はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

少しずつ国のほうも動きが柔軟に変わっていますので、そのときそのときに情報をキャッチアップしていくことが必要かなと思っていますので、こうした情報を後ほどよく御覧いただけるとありがたいかなと思っています。

一旦ここは次のほうに行きたいと思います。次、世田谷区としてどういうことを考えているのかというところなんですけれども、全体としては、恐らく様々なパターンが考えられるかなというところなのですが、今回は資料3と4に関わりまして御提案をいただくところですので、全体の青写真を本当は皆さんにお見せしたほうがいいかなという感じは私はしているところがございますが、細かいところの各論のところでもまず一旦御意見をいただいて、その後、次回以降、全体の青写真、どういうパターンがあるのかとか、そんなようなところを御意見をいただけるとありがたいかなと思っています。まずは今現状考えているところ、資料3を御覧いただけるとありがたいと思いますが、ここに関わりまして事務局より御説明をお願いします。よろしく願いいたします。

○事務局 では、御説明させていただきます。

資料3ですけれども、先ほど御覧いただいた資料2の3ページの下の部分、地域連携というところに関連して少しお出ししている資料です。

地域連携という形については、区では、さっきも御説明しましたが、部活動支援員制度というのが今ありまして、技術指導をはじめ大会への引率なども行っているという実態がございます。地域連携に伴っては、簡単に言うと、顧問の先生が今までやっていたことを地域の技術指導者が代わってやるという考え方になります。

顧問の先生が今何をされているかというところで、技術の指導はもちろんなんですけれども、それだけではなくて、大会の引率であるとか、大会の運営であるとか、保護者の方との御連絡であるとか、生徒の方への生活指導みたいなものも含めてですとか、事故が起きたら御対応されるとか、いろんなことをすごくたくさんやっていると思います。これを地域のスポーツ団体ですとか地域指導員の方に代わって指導していただくときに、これが全部できるのかというところが一つ課題かなと思っています。

例えばですけれども、総合型のスポーツクラブであるとか学校を拠点として活動されているような団体ですと、大きな組織でしっかりと運営されているところについては、教員の方が今やっていることを形式としては引き継いで、この図で言いますと、左側に地域移行後と書いてある地域スポーツ団体というところなんですけれども、いろいろなことを一緒にやっていくことも不可能ではないのかなと思っています。

一方で、例えば部活動支援員の方に引き続き、ちょっと中間的な位置づけで指導をいただく場合とか、クラブチームとか大学生の指導員の方とかに技術を教えてもらうということを主に指導をお願いしたときに、それ以外のことについてまでお願いをすることが可能なかどうかというところは、やはり課題があるかなと考えております。

一つの考え方として、これは国の資料にもコーディネーターという位置づけが書かれているんですけれども、下側の点線の四角の中を御覧いただきたいんですが、指導員の方は、技術の指導とか年間計画を立てたり、大会の引率をしたり、保護者の方との連絡をしたり、事故の一次対応をしたりというところ、これは当然指導していただくので必要なことなんですけれども、それ以外に例えば、学校との調整ですとか、いついつ試験がありますよとか、この日運動会があるので活動をちょっとできませんよとか、何曜日、いついつが使えて、いつが使えませんよとか、そういうような調整ですとか、支援員の方、例えば区役所の担当職員と何か調整することだとか、そういうことを代わってやるですとか、指導員の

方のシフトを組んだり、配置をしたり、報償費を払ったりみたいなことを、その下にもいろいろサポートというのを書かせていただいていますけれども、指導員の方に指導に専念してもらうために、それ以外のことを代わってやっていただく位置づけのコーディネーターというのがいると、効率的にいろいろ進められるのではないかなと、所属のほうで少し考えた案をお示ししています。

資料で言うと、上のほうの三角形で箇条書きしているところなんですけれども、このコーディネート機能を使うと、クラブチームの指導者の方とか、小さな地域団体の指導者の方とか、大学生の指導者の方とか、そういう方々にもいろいろと技術指導を幅広くお願いするということが可能になるのではないかなと考えております。今回、国の資料で、地域連携という考え方がちょうど出てきておりますので、そこと絡めまして、今、世田谷区の中で考えられるようなこととして、この資料3を御提案させていただいております。

御説明は以上です。

○委員長 ありがとうございます。資料3全体に関わりまして確認をさせていただきますが、まず御提案としては、要は、生徒と保護者と地域のクラブないしは指導者と間をつなぐコーディネート機能がある。そこを何とか整備したいという御提案かと伺っておりますが、例えば先生が続けて兼職する場合にはどういうふうな形になるんですか。

○事務局 先生が兼職をされる場合は、この図で言いますと、左側の地域移行後のところにあるスポーツ団体、地域指導員、どちらに当たる場合も、学校の部活動の条件によってあるかと思うんですけれども、先生は学校にいらっしゃる方なので、ある程度御調整機能はしていただけたところもあるのかなとは思いますが、地域の指導員として兼職兼業という形で携わっていただくときに、いわゆる雑務と言われているようなところをコーディネーターの方に担っていただくことで、先生の仕事を指導員として専念していただくということも可能になるのではないかと考えております。

○委員長 ありがとうございます。では、皆さんより御質問、御意見はございますでしょうか。とりわけコーディネーター機能につきまして御意見をいただきたい。

○委員 先ほどの資料2の2ページ目の右下ところにもコーディネーターという役職者、そして市区町村の中には総括コーディネーター、まだスポーツ庁が公にしていない資料ももちろんあるかと思っておりますけれども、都道府県にも総括コーディネーターという形で、スポーツ庁を頂点としたピラミッドを構築していこうという議論もあるかと思っております。世田谷区では、このコーディネーターという人材をどのような地域配置で何名ぐらい、また、



そういった人たちは専従になるのかどうなのか、学校の先生がコーディネーターを兼ねるのか、そうじゃないのか。その辺はどのような見通しでしょうか。

○事務局 世田谷区では、今何か決まっているかということ、まだ決まっておりません、特にこの検討委員会でぜひ御意見をいただいて、そこも反映させていただくというのが視点ではございますけれども、1つは、先生にそこをやっていただくというのは、この地域移行の主眼からすると、ちょっとおかしなことになってしまうので、それはいいのではないかなとは考えております。

可能性としては、例えばですけれども、指導するということとは切り離して、団体の方ですとか民間の事業者とか、世田谷区には、今日もいらしている方もいますけれども、財団という外郭団体といったところもございますし、そういったところで何かお願いできるという可能性はいろいろあるのかなとは考えております。事業者ですとか、特定の財団を指しているわけじゃないですけれども、財団とかそういった形の場合ですと、一つの学校に一人の方がつくというだけではなくて、一人の方が幾つかの部活動を兼ねてコーディネートするということが理論的には可能なのではないかなとも考えております。以上です。

○委員長 ありがとうございます。すみません。大分時間が押してしまったので、本当に私の進め方が悪かったんですけれども、ここで、学校関係の委員、コーディネート機能につきまして少し御意見をいただければと思っております。

○委員 コーディネーターとかコーディネート機能については、ぜひ前向きに進めていただきたいと思います。課長おっしゃっていた部活動の地域移行の趣旨からして、教員の煩雑な調整がもう目に見えるので、それは学校の教員の職務からは外していただきたいなと思います。

特に中学生や高校生や大学生の方の話を聞いていて、やっぱり活動の目的とか目標が、指導者がいっぱいいるので、その調整もまず大変でしょうし、いろいろなスタイルのやり方が国からも示されていますし、この後多分議論になると思うんですけれども、資料4にも世田谷の考え方が出ていますから、これも小規模校だったらこうだし、大規模校だったらこうだし、学校の事情によっていろいろ違うと思うんです。それについてもコーディネーターを入れて、その方が調整していただくというほうが円滑に進むのではないかな。自校の教員だったら、どうしても自校のことを考えやすいので、ニュートラルな人がニュートラルにいろんなことを計画していただけたほうがいいのかなと思います。

それから、入退部の問題もいろいろ出てくるので、やっぱりそういう方を通して入部す

る、退部するみたいな、あまり言葉はよくないですけども、生徒の管理についても、そういうことが代表で一人いて、複数校になるか分かりませんが、そこを通して全体を、そこに全部情報が集約されるというほうが、それが学校それぞれにおいて振るといふほうが望ましいなとは思いました。

一つ疑問は、コーディネーターは部活ごとのコーディネーターなのか、学校単位とか複数校のコーディネーターなのか。それについても、恐らく部活の競技や種類によっても、もしかしたら少し柔軟に考える必要が出てくるのかもしれない。それはおいおいだと思うんですけども、学校としては、コーディネーターはぜひ進めていただきたいと思います。以上です。

○委員長 ありがとうございます。この件に関しては何かほかはございますでしょうか。恐らく各論はいろんな御意見があるかと思えます。全体としてはコーディネーター制度を機能させるために、予算とかを含めて全体としてのデザインとして確実に組み込んでいくというのは、検討委員会のこちらの総意みたいな形でもよろしいですか。御意見がありましたら、また後でよろしくお願ひします。

○事務局 一つ伺ってよろしいでしょうか。今、御意見ありがとうございます。例えば今、事業者ですとかそういった形でコーディネーターを置いてはどうかみたいなことを先ほど私から申し上げたんですけども、学校の職員がそういったことを担うという考え方をされる方もいらっしゃるようですが、学校の職員の方という形で配置をされると、またそれはそれで煩雑なところが多いのかもしれないなと想像をしたりもするんですが、その辺について何か御意見があればお伺ひしてもよろしいでしょうか。

○委員 今、他の委員とも簡単に話したのですけれども、現在スクールサポートスタッフを学校に入れてもらっていますが、そういうスタイルでコーディネーターを配置してもらえるといいのかなと思います。コーディネーター役を学校の教員にお任せというと、結局、その教員の負担がすごく大きくなるのと、最後は「副校長、やってね」みたいなことになりやすいので、できるだけ外にコーディネーターは出してもらえるといいのかなと思います。

○事務局 どちらかという、外の方がやったほうがよいということですね。

○委員 はい、そうですね。特に教員がやりたいということであれば、それは別にやぶさかではないんですけども、できるだけ外の方に調整してもらったほうがニュートラルでフラットかなと思います。

○教育長 質問なんですけれども、学校の内部の事情というのが分かっていないかもしれないから、学校に配置するというのを課長が今お話ししたんです。学校の特別な事情とか生徒の事情とか、または部活の事情とか、そういうことをどのようにそのコーディネーターに伝えていくかというのが課題かなということが出ていました。それについてはいかがですか。

○委員 今ふと思いつくのは、部活動を完全に地域に移行するに当たっても、やっぱり部活動に対しての何らかの校内組織は必要なのかな。情報集約とかコーディネーターとをつなぐ校務分掌的な役割を担う組織はどうしても校内に置くべきかなとは思いますが、そこが主体にはならないことが大切です。

○教育長 じゃ、そういうのを学校の中に置いておいて、コーディネーターとつなぐみたいな感じが。

○委員 そういう校務分掌を一つ無理のない範囲で入れるということが一番考えられるかなと思います。

○教育長 ありがとうございます。

○委員長 ありがとうございます。よろしいですか。

すみません。大分時間が過ぎてしまって申し訳ありませんが、一旦ここでコーディネート資料3については閉じさせていただきます。

では最後、資料4でございます。地域資源を活用したトライアル事業(案)、これは次年度から始める可能性があるということで、事務局ご説明をよろしくお願いします。

○事務局 ありがとうございます。来年度、いろいろなトライアルをやっていこうかということで、区内で今検討を進めているところです。当然予算がなくてはできないので、そういった来年度に向けての予算の措置ですとか、どういうトライアルをやっていったらいいのかというところをこれから区役所の中で具体的に決めていく段階でございます。

今日、いろいろ委員の方も来ていただいておりますけれども、例としては総合型地域スポーツ・文化クラブについては、実は今週集まりがございますので、そこで少し御提案と意見交換をしていただいて、いずれかのところで少しトライアルを試みていただけないかと御提案をする予定でございます。スポーツ振興財団、せたがや文化財団につきましては少し御提案をいただいておりますので、この後少し御説明をいただけないかなと考えております。

民間事業者についてもいろいろな自治体で部活動の実施をしている、試しにいろんなこ

とを始めている自治体がございますので、トライアルという形で来年度実施できないかなと考えているところです。

具体的にこういうものをというのはまだなかなかお示しできない形での御説明になりますけれども、そういった形で来年度に向けて準備を進めておりますので、ぜひ御意見等を伺えたらと思ひまして、御提案させていただいております。以上です。

○委員長 ありがとうございます。先ほどこちらの資料の中で、せたがや文化財団、世田谷区スポーツ振興財団による部活の実施が来年度トライアルとして、試しとして想定されていますので、どのような活動が展開できるか、御説明を少しいただきたいと思ひますが、よろしくお願ひします。

○委員 本日、皆様の席に世田谷パブリックシアター学芸プログラム通信というものを、置かせていただいているかと思ひます。文字の量が非常に多いので、かいつまんでポイントだけ御説明をさせていただければと思ひます。

開いていただくと、ほぼ毎日どこかここかに行っているということがお分りいただけると思ひます。前回の検討委員会の際にもお話を申し上げましたが、各学校個々に私どもから演劇やダンスなどの指導に入らせていただくという実績が過去いっぱいあるんですけれども、なかなか課題が多くて、いろんな経験を重ねていく中で、いわゆる合同部活かつ土日中心で、世田谷パブリックシアターに集まっていただくというやり方が、経験則からすると一番うまくいくというのが現在までの到達点でございます。そういう意味では、トライアルは今回初めてやるというよりは、もう20年ぐらいずっとトライアルし続けてきていると御理解いただければと思ひます。

これで全ての課題が解決できるとはもちろん思っておりませんが、今開いていただいたところに、いろんなところでいろんな形で行っているというのが御覧いただけるかと思ひます。その中で、世田谷パブリックシアター中学生演劇部というのが随所に出てまいります。これが各学校に演劇部がない、またはあっても、その部じゃない活動でやりたいみたいなことも中にはあり得るわけで、そういう人たちが日曜日とかに集まってプロから指導を受けるというやり方。その集大成として、前回、委員もおっしゃってくださった区大会というのがあるんですけれども、そこに学校の代表と一緒にパブリックシアター演劇部が、一緒に発表させていただいている。この流れを少し今回の地域移行の位置づけさせていただいて、そこでいろんな課題などを抽出しながら、どういう形がいいのかというところを半分模索しながらですけれども、そういう提案を文化財団としてはまずはさせていた

だくというのが今回の趣旨でございます。以上です。

○委員長 ありがとうございます。既に実績があるところに今回の地域移行と合わせていくという御提案かと思えます。

続きまして、スポーツ振興財団の委員、お願いします。

○委員 私どもスポーツ振興財団としましては、区内のスポーツ施設を管理運営しておりますので、そういった施設の活用というのがまず考えられると思えます。具体的には、総合運動場であるとか、中学校の温水プール、太子堂とか玉川、烏山、梅丘のそれぞれ中学校ですが、あと総合運動場にもプールがございますので、そういったものの活用ということが考えられます。

それと、指導していただく人なんですが、私ども世田谷区の体育連盟の位置づけもございますので、その加盟団体、賛助会員の御協力をいただくであるとか、あとは個別のスポーツの関係の事業者であるとか、アカデミーとかのそういった活動をしておりますので、そういった部分、それから区内の大学との連携であるとか、あと先ほど顧問の先生の話がございましたが、現行の顧問の先生との相談の中で、顧問の先生とかそういった相談の中でやっていく部分もございますので、そういった中で、どういったやり方がいいのか。ですから、現行のクラブそのまま移行という形がいいのか、例えば顧問の先生から、あとは指導者の推薦であるとか、そういった部分で御協力できるとか、そういった部分、先ほど学校をしょってという、看板をしょっての活動に意義があるという意見もございましたので、そこら辺を踏まえた私ども御協力させていただくことができるものについては努力したいと思っています。私からは以上です。

○委員長 ありがとうございます。皆さんからも御質問をちょっといただきたいと思いますが、確認をさせていただきます。いろんなパターンがある中の一つのトライアルとして、今回、文化財団とスポーツ振興財団が既にある活動、あるいは既にある施設を使いながら何ができるかというのを1年間トライアルしていただいて、それがうまく広がれば、あるいは違うパターンが考えられるのか、課題を見ていく。まずは議論するよりも先に動いてみましょう。動いてみることによって、見える課題みたいなのを洗い出していきたいということかなと思っておりますが、このトライアル事業でございますが、皆さんから意見はいかがでしょうか。

○委員 そうしますと、幾つかモデルが示されているかと思うんですけれども、世田谷区では、②多様な組織・団体が運営団体の場合というものを想定した上で、このモデルト

ライアルを進めていこうという方向性でよろしいということですか。

○事務局 様々な形があろうかと思えますので、それぞれのトライアルを本来はやりたいと考えておりますけれども、主体として、外郭団体として実施できる御提案をいただいているものが比較的この②に近いものでございましたので、そこから少し調整をしていきたいと考えております。以上です。

○委員 ありがとうございます。

○委員長 ありがとうございます。恐らくどういうパターンが考えられるのかというのがまだ提示されていない中でトライアルが始まってしまうので、皆さんが多分混乱するんだろうなという感じがするので、間違いなく次回は、例えば今3つのパターンがありますけれども、ほかに何が考えられるのかも含めて、コーディネーター機能も含めて、何か全体の図を出していただいて、そして議論したほうが皆さんの混乱がなくていいかななんてちょっと感じている次第でございます。

○委員 今、教育委員会から御説明いただいたことにも若干関連をいたしますので、1点補足をさせていただければと思います。

私ども文化財団として今回提案を申し上げたことはもちろん一生懸命やるんですけれども、それを私どもの財団が自ら主たる役目を担って行うということに対して、区のほうからいわば補助金という形でお金を頂戴して行うことになると、まさに今、先生から御指摘の②の形になるわけです。一方で、これは区なり教育委員会が主体として行う事業について、手前ども文化財団などに事業を委託するという形で行われる場合、やっている現場での中身はほとんど変わらないんですけれども、その権限も責任も全部教育委員会という形になる。私どもは委託事業者の一員ということになる。

ですので、予算の持ちようをどうするのかということ、それによって実施体制の根源的な責任がどこにあるのかというのはまるっきり違ってきますので、私ども文化財団としては、その部分をどういうふうにしていくのがよいのかという決定権は事実上ないのでけれども、区として、①にしていくのか、②にしていくのかによって位置づけが変わってくるといところも含めて検証されるのか、そこについては①か②というお考えがある程度明確におありになるのか、ちょっと確認の意味で教えていただければと思います。

○事務局 ありがとうございます。実は、今たまたまこのペーパーがあるので、①ですか、②ですかというお話でお答えしてしまったんですけれども、これはたまたま、①のほうが登場が学校の施設でやりますという絵なんです。ですので、どちらかという、②かなと

いうことで、すみません、ちょっと安易にお答えをしてしまいました。今、先生のほうでちょっと言っていたんですけれども、実はこういう形式でできるかなというパターンを幾つかつくったものを所属のほうでは検討しております。今、先生のほうでも御発言いただいたので、次回はそういう形でお持ちしようかなと思っております。

委員からの御質問につきましては、今回トライアルについては、委託がいいのか、それとも補助金といいますか、経費負担がいいのかというところは、ちょっとトライアルを検討していく中で、御相談しながらやっていくということが必要かなと思っております。同じ形態でやるとしても、トライアルは委託でやるけれども、それと同じことを次の年度、その次の年度に実際の部活動としてやっていくときは、もしかしたら補助金がいいのかなという考え方もあるのかなとも思いますので、そういうところも次回までには、少し皆さんの御意見もいただいた上で、こういうトライアルができそうですという御提案もできるかと思っておりますので、少し考え方を整理してお示しできたらと思っております。以上です。

○事務局 ありがとうございます。実は、今たまたまこのペーパーがあるので、①ですか、②ですかというお話でお答えしてしまったんですけれども、これはたまたま、①のほうで場所が学校の施設でやりますという絵なんです。ですので、どちらかという、②かなということ、すみません、ちょっと安易にお答えをしてしまいました。今、先生のほうでちょっと言っていたんですけれども、実はこういう形式でできるかなというパターンを幾つかつくったものを所属のほうでは検討しております。今、先生のほうでも御発言いただいたので、次回はそういう形でお持ちしようかなと思っております。

委員からの御質問につきましては、今回トライアルについては、委託がいいのか、それとも補助金といいますか、経費負担がいいのかというところは、ちょっとトライアルを検討していく中で、御相談しながらやっていくということが必要かなと思っております。同じ形態でやるとしても、トライアルは委託でやるけれども、それと同じことを次の年度、その次の年度に実際の部活動としてやっていくときは、もしかしたら補助金がいいのかなという考え方もあるのかなとも思いますので、そういうところも次回までには、少し皆さんの御意見もいただいた上で、こういうトライアルができそうですという御提案もできるかと思っておりますので、少し考え方を整理してお示しできたらと思っております。以上です。

○委員長 委員、手短にお願いします。

○委員 今日、中学生、高校生、大学生がせっかくいらっしゃっていて、冒頭で移動の時間だとか、やっぱり慣れ親しんでいる校舎の施設を使ってということがとても大事なんだ

なというのは、生の声として聞こえてきました。今現在、世田谷区が想定しているのは、中学生が移動をして、それぞれの施設に出向いてという方向性かと思うんです。日本のスポーツ施設というのは、8割、9割が学校にありますので、そこをどうやって活用していくかということが必要になってくるかと思います。その点も含めて議論いただければと思っております。

○委員長 貴重な意見ありがとうございます。

○事務局 1点補足させてください。御説明が足りなくて申し訳ありません。先ほど資料4で御説明をしました①から④までのトライアルという意味で言うと、①については、現在、総合型地域スポーツ・文化クラブの中で、中学校で実施していただいているところが2つございます。これから御調整になるんですけれども、ぜひ中学校でやっているところと考えるをお願いしたいと思っているので、その中学を中心にまずはやっていただく。①についてはそういう形になろうかと思っています。

④につきましては、民間事業者が学校に出向いて部活動を顧問に代わってやるというスタイルを考えていますので、これも実施の場所については学校主体という形で考えていますので、学校でやるものとそうでないものを両方やってみたいかなという御提案をさせていただきます。以上です。

○委員長 ありがとうございます。恐らくまだたくさんの意見があるかと思いますが、一旦ここを切らせていただいて、また後日、何か御意見、あるいはこの後、個別で御意見をいただければと思っております。

では、次第の5、情報提供というところで、もう時間が過ぎておりますが、手短かに願います。

○事務局 短く説明します。前回、地域資源というのをたくさん御覧いただきましたが、ちょっと追加としまして一つお示しさせていただきます。

ページをめくっていただきまして、中ほどのページに御説明してはいますが、実は世田谷区で今、私どもの所属でやっているんですが、STEPという事業があります。これは中学生の放課後の居場所という位置づけで、部活動とは違って、もう少し自由に好きなときに参加できるという意味合いのゆる部活のような活動です。何をやっているかというと、3ページ目のところに表がございまして、17の学校でいろいろな活動をそれぞれやっていて、学校の方が中心なんですけれども、一番右側に在校生外もいるところもあるという形になっています。



これ、随分前から世田谷区ではやっているんですけれども、今回の地域部活クラブというのに性質的には非常に近いものなのかなと考えておりました、これも地域移行の一つとして検討の中に入れていけないだろうかというところで、まずはSTEPの事業として情報提供をさせていただきます。以上です。

○委員長 ありがとうございます。既にこういうSTEPという活動がなされておりまして、学外の生徒さんたちも参加するような活動も既にある。ここをうまく活用という御意見だったと思います。まず資料5につきまして、今の説明も含めて何か御質問、御意見はありますでしょうか。

では、また何かありましたら個別でお願いしたいと思います。

では、次第の7になります。その他でございますが、事務局よりよろしく申し上げます。

○事務局 それでは御説明いたします。

次回以降の開催予定日について御説明させていただきます。次第1ページ目、下のところでございますが、3回目以降、御覧の日程で予定をさせていただいております。会場等については、また調整次第、御連絡させていただきますが、ぜひ御予定いただければと存じます。よろしくお願いたします。

○委員長 ありがとうございます。こちらで用意しました次第は以上でございますが、委員の皆様、あるいは事務局の皆様、そのほか情報提供、あるいは事務連絡も含めてございますでしょうか。係長、よろしいでしょうか。大丈夫ですか。

長い時間お付き合いいただきましてありがとうございます。私の進め方が非常にまずかったもので、時間をオーバーしてしまいました。また、中学生、高校生、大学生、本当に長い時間ありがとうございました。皆さんの意見が次の世田谷区の生徒たちにいい意味で生かせるようにやっていきたいなと思っています。本当にありがとうございました。(拍手) まず、中学生、高校生、大学生にありがとうございます。感謝をしたいと思います。

では、これをもちまして第2回世田谷区立中学校部活動地域移行に係る検討委員会を閉じたいと思います。委員の皆様、そして職員の皆様、検討部会の皆様、本当にありがとうございました。本日はお疲れさまでした。以上で解散になります。

午後6時52分閉会